

# 膠原病外来開設のお知らせ

当院内科にて、リウマチ膠原病の診療を開始いたしました

リウマチ・膠原病でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください

私は地元柏市出身で医師のスタートも名戸ヶ谷病院で始め、専門研修で力をつけて2024年度から再び柏に帰ってきました。2人主治医制の形で、専門的病態以外の管理はかかりつけ医の先生方と一緒に診療させていただくことで、より多くの患者さんにきめ細やかな診療ができると考えており、地域で質の高いネットワークを作ることができるよう日々患者さんに向き合っていきます。

## ◆略歴

2013 東京大学医学部医学科 卒業  
2013 名戸ヶ谷病院 初期研修医  
2015 名戸ヶ谷病院 内科  
2017 魚沼基幹病院 総合診療科  
2018 国立国際医療研究センター 膠原病科  
2023 東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科  
2024 名戸ヶ谷病院 内科  
2026 名戸ヶ谷病院 内科（リウマチ膠原病）

## ◆資格

日本内科学会認定内科医、総合内科専門医・指導医  
リウマチ専門医・指導医、学会認定ソノグラファー  
日本病院総合診療医学会認定医、特任指導医  
日本専門医機構認定 総合診療特任指導医  
千葉県認定 難病指定医  
身体障害者福祉法第15条指定医（肢体不自由、じん臓、心臓）  
臨床研修指導医  
医療安全管理者養成研修修了（日本医療安全学会主催）

**小林 俊昭**

（外来：第3木曜午後）

膠原病領域を担当しております、原田拓弥と申します。国立国際医療センターで研鑽を重ね、2026年より名戸ヶ谷病院に赴任し、小林俊昭先生とともに膠原病領域を担っております。患者さんのライフステージに寄り添い、信頼を得られるように努めて参ります。患者さんのご紹介、ならびに御指導を何卒宜しくお願い申し上げます。

## ◆略歴

2018 北海道大学医学部 卒業  
2018 勤医協中央病院（札幌） 初期研修医  
2020 国立国際医療研究センター病院 膠原病科  
2021 国立国際医療研究センター国府台病院 リウマチ・膠原病科  
2021 国立病院機構東埼玉病院 リウマチ科  
2022 国立国際医療研究センター病院 膠原病科  
2025 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 膠原病科  
2026 名戸ヶ谷病院 内科（リウマチ膠原病）

## ◆資格

日本専門医機構認定内科専門医  
日本リウマチ学会認定リウマチ専門医・指導医  
日本リウマチ学会認定ソノグラファー（関節エコー）  
日本病院総合診療医学会認定医  
臨床研修指導医  
難病指定医

**原田 拓弥**

（外来：第1木曜午後）

# Our Approach to Rheumatology Care

当院の内科はプライマリケアの視点の下臓器横断的に、救急から慢性疾患まで幅広く扱っております。リウマチ膠原病疾患は全身に多彩な症状を起こすので、臓器特異的な視点では診断がつきにくくまさに「ヒトを診る」診療科として、名戸ヶ谷病院内科のジェネラルマインドの延長線上にあると考えております。

整形外科など他科と協力してリウマチ膠原病診療のほぼ全て当院で完結する体制を整えているばかりでなく、悩ましい症状の診断の段階から積極的にご紹介いただき、問題の解決にあたらせていただければと考えております。

## 対応可能な症状

- 手指／足趾などの全身の関節の痛み、朝の指のこわばり
- 急に肩が上がらなくなった、寝返りができなくなった
- 1週間以上続く高熱、微熱が続く
- 眼のかわき、口の渇き
- 上腕や大腿の筋痛／筋力低下、急性の嚥下障害
- レイノー現象（指が白や紫になる）、皮膚が硬くなった
- 咳が長引く
- 熱に伴って、手足に皮疹が出る、複数の手足にしびれがある
- 亜急性の側頭部や頭皮の痛み
- 繰り返す口内炎
- 原因のわからない熱や炎症（不明熱）



## 対応可能な疾患

- 関節リウマチ
- リウマチ性多発筋痛症
- 偽痛風、クラウンデンス症候群、ピロリン酸カルシウム結晶沈着症(CPPD)
- 乾癬性関節炎、強直性脊椎炎など脊椎関節炎
- 掌蹠膿疱症性骨関節炎／SAPHO症候群
- 全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- シェーグレン病
- 皮膚筋炎・多発性筋炎（抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎を含む）
- 全身性強皮症（皮膚、間質性肺炎、消化管など）
- レイノー現象、（膠原病関連の）肺高血圧症（疑い含む）
- 抗リン脂質抗体症候群（繰り返すDVT/PEや血栓イベント、習慣性流産）
- ANCA関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎）、急速進行性糸球体腎炎
- 好酸球増多、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
- 高安動脈炎、巨細胞性動脈炎
- ベーチェット病、周期性発熱症候群
- 成人発症スチル病、他自己炎症性疾患
- （自己免疫性の）間質性肺炎
- IgA血管炎（腎症）、結節性多発動脈炎、再発性多発軟骨炎など各種血管炎症候群
- IgG4関連疾患（後腹膜線維症、自己免疫性膵炎など）
- 炎症性腸疾患、および関連関節症
- 骨髓異形成症候群に関連する自己免疫病態（血液内科と連携）

## 治療方法

- 抗リウマチ薬(DMARDs)
- 免疫抑制薬
- 分子標的薬（生物製剤）
- ステロイド（グルココルチコイド）
- リハビリテーション
- 手外科、足外科を含む整形外科と院内連携
- 血液内科と院内連携（血液疾患の鑑別対応）
- 血漿交換



社会医療法人社団 蛍水会

名戸ヶ谷あびこ病院

TEL 04-7157-2233